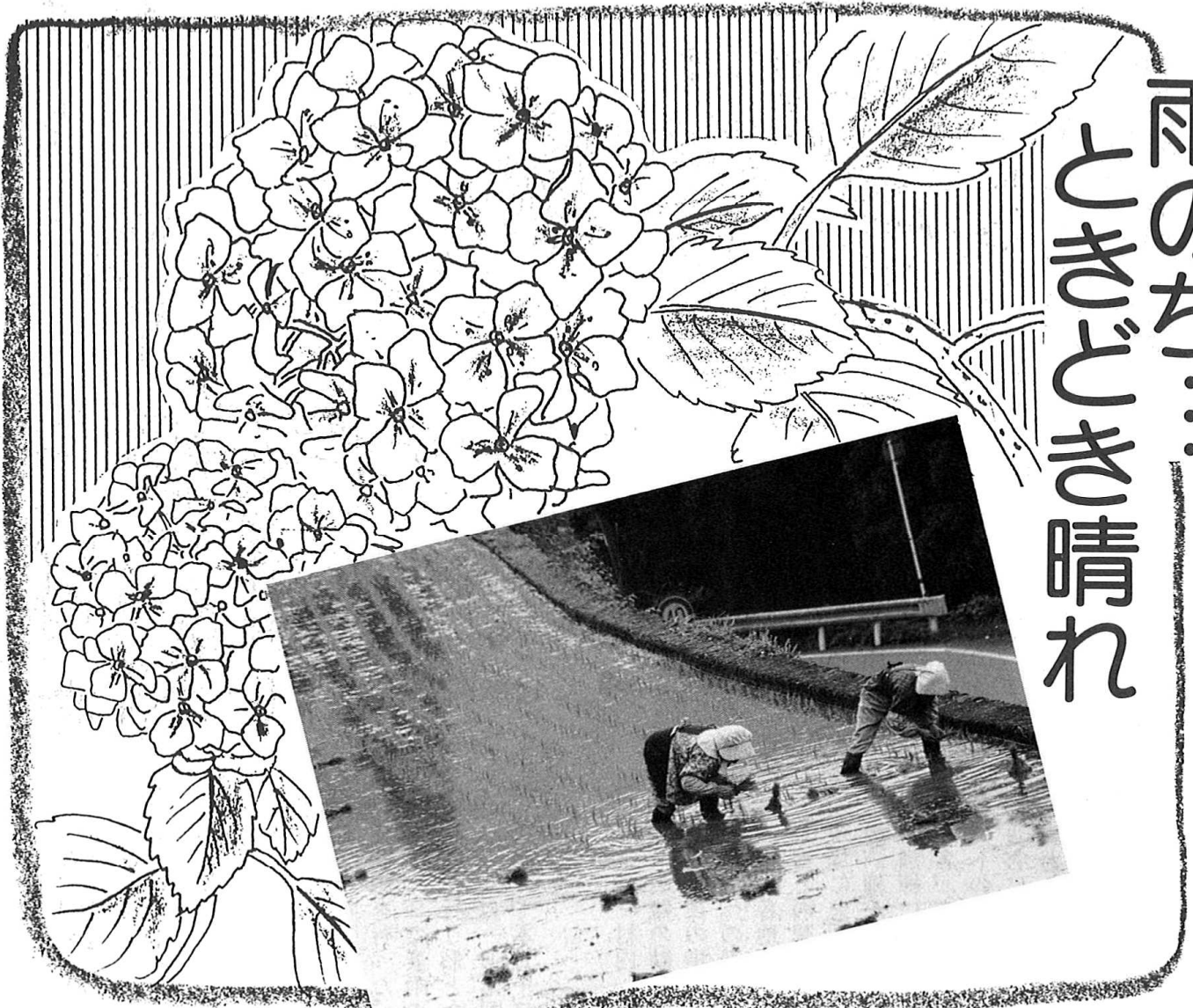




広報

なかつえ



雨のち…
とぎどとぎ晴れ

低くたれ込めた
雲のすき間から
地上めがけて
光の帯がありてくる
大地の恵みの雨とともに
かすかに新しい息吹が
きこえてくる
もう少いで
暑い夏がやってくる

人口と世帯数 (5月末現在)

人口 1,496人(- 5)
男 709人(- 4)
女 787人(- 1)
世帯数 484戸(- 1)

94 / 6

備えあれば……

避難訓練行われる

6月10日早朝

村内一斉の無線放送により避難訓練がはじまった。午前六時、役場に設置された災害対策本部へは、役場全職員、消防団長・副団長、広域消防職員が集結、対策本部での各事務に就いた。

六月七日九州北部地方が梅雨入りした。五月中の雨量は平年に比べ半分以下だったそうであるが、今後の雨の状態はまだまだ予断を許さないところであり、尚一層の警戒が必要である。五月十六日、第一回中津江村防災会議が開催され、今回の避難訓練実施が決定。その後、五月二十五日には消防団幹部や自衛隊、土木事務所、駐在所、役場職員等が参加し、防災パトロールが行われた。



▲避難場所へ急ぐ人達

村内の災害危険予想箇所、二十三箇所を巡視、うち五箇所は落石防護柵などにより解消したが、残り十八箇所以外にも大雨で危険となり得る場所を再確認した。翌二十六日自主防災会の正副会長会議が開かれ、避難訓練について昨年度の反省をふまえ、今年の取り組みについて協議を行った。昨年は六月十八日の豪雨の後に避難訓練を行う形となったため、今年は一日も早く実施となった。

六時三十分、村内一斉放送により、避難の勧告がされ自主防災会長の指示のもと各避難場所への避難を開始。その後、各地区で災害が発生したとの想定で、消防団が現場に急行、本番さながらの訓練が行われた。今回の訓練には全村で、一〇六八名、率にして七一パーセントの参加があり、村民の災害に対する意識の深さが表われている。眠たい目をこすりながらの子供達も訓練に参加していた。災害はこないにこしたこ

とはない。しかし忘れた頃にやってくるのが災害である。昨年の豪雨・台風の体験を生かし、被害を最少限におさえたいかなければならない。最近では異常気象であると常々言われているが、長い地球の歴史のサイクルの中では、決して異常ではなく正常な一つの過程なのかもしれない。自然の猛威の前には人間は無力なんだと認識しなければならぬのではなからうか。



▲防災パトロール打合せ

中津江村小学校

統合推進委員会設置さる

統合問題経過報告・Part1

五月十二日、役場の会議室において小学校の統合に関する協議が開かれた。教育長より、これまでの経過報告等がなされた後、全員協議の上、「中津江村小学校統合推進委員会」が設置された。四十二名の委員に委嘱状が手渡され、統合問題は新たなスタートをきった。

これまで小学校統合に関する話は、幾度となく出てきた。今回は子供を持つ親が協力して立ち上がり、統合へ向けて結束しているという力強さがみられた結果ではなからうか。丸蔵地区では昨年末から推進委員会を設置、話し合いを進め、それに呼応するかのよう、他の地区でも話が進み、委員会の設置へつながった。今回の第一回委員会では、規約の制定に関する件、役員選出、小委員会の設置、今後の日程等について協議が行われた。規約では平成七年度から小学校が統合するにあたって、その推進を図ることなどが明文化、村長を委員長に選任することなどが決められた。委員会では、平成七年度統合へ向けてすみやかに事業を行っていか統合自体はあ

まり問題があるとは思えない。ただし期間が短いので、皆様の御協力が必要であるとあいさつ、活発な議論を求めた。

今回は細部にわたる議論はできなかったが、今後の取組課題として通学手段について、校名について、跡地利用についてなど、実質的な話し合いも行った。通学手段については、当局としては現在の村営バスのダイヤや組替えによる対応を考えているが、本当にそれだけで大丈夫なのかといった意見が数多くだされ、今後の小委員会でも検討、議論していくこととなった。小学校の統合問題は、単に学校が一つになるといふ事だけではなく、子供の将来にとって、重要な事項であり、村の将来、過疎化や若者の村ばなれの問題とも深くかかわることである。今後も経過を報告していきたい。

委員会経過

- 第一回推進委員会 五月十二日
- 第二回小委員会 五月二十三日
- 第三回小委員会 六月十五日
- 第二回推進委員会 六月十六日

中津江村小学校統合推進委員会名簿

(○印は小委員会委員)

| 氏名 | 職名 | 氏名 | 職名 |
|--------|--------------|--------|-------------|
| ○北村益郁 | 村長 <委員長> | 奥平親雄 | 学校医 |
| ○井上幸通 | 助役 | 藤川一俊 | 自治会会長 |
| ○坂本休生 | 議会議長 <副委員長> | 永瀬个 | 自治会副会長 |
| ○岩下和生 | 議会副議長 | 川良鶴美 | 主任児童委員 |
| 鷹野勉 | 議会議員 | 石川勲 | 津江中学校PTA会長 |
| 牛島寿太郎 | 議会議員 | 水野武 | 津江中学校PTA副会長 |
| 川野新平 | 議会議員 | 合谷英子 | 津江中学校PTA副会長 |
| 永瀬源似 | 議会議員 | ○長谷部弘海 | 川辺小学校PTA会長 |
| 高木加幸 | 議会議員 | 相良健二 | 川辺小学校PTA副会長 |
| 大賀福雄 | 議会議員 | 合谷由美子 | 川辺小学校PTA副会長 |
| 渡邊辰己 | 議会議員 | ○古沢厚美 | 丸蔵小学校PTA会長 |
| 赤星仁一郎 | 議会議員 | 長谷部保佳 | 丸蔵小学校PTA副会長 |
| ○池辺弘 | 教育委員長 <副委員長> | 北村羊 | 丸蔵小学校PTA副会長 |
| ○川内高夫 | 教育委員長職務代理 | ○長谷部正博 | 鯛生小学校PTA会長 |
| ○遠坂末廣 | 教育委員 | 平野三雄 | 鯛生小学校PTA副会長 |
| ○坂田カヨ子 | 教育委員 | 吉本博則 | 鯛生小学校PTA副会長 |
| ○長谷部雍彦 | 教育長 | 山田緑 | 保育園父母の会会長 |
| ○武内勲 | 津江中学校長 | 石田由美子 | 保育園父母の会副会長 |
| ○矢野博文 | 川辺小学校長 | 中元富太 | 総務課長 |
| ○樋口義弘 | 丸蔵小学校長 | 中原邦彦 | 企画開発室長 |
| ○十時鶴夫 | 鯛生小学校長 | 川村恭一 | 教育次長 |

現代の救世主となれるか？

総力特集 No. 1

“EM”って何だ！

▼EMぼかしを作る作業

(有効微生物群)



EMとは、有効微生物群 (Effective Micro-organism) の略で自然界に存在する有効な働きをする複数の微生物群を組み合わせて培養したものです。このEMを利用した土は本来の力を回復し、田畑の生産性が大幅に向上します。また生ゴミの堆肥化、土壌改良、汚染浄化、悪臭防止など食糧・環境・健康面の問題までが解決するなど、驚くべき出来事が起きています。

農薬を使わず 元気を土づくり

EMは沖繩の琉球大学教授比嘉照夫先生が開発したもので、もともと土の中にはいい菌も悪い菌もいますが、農薬などを使うと悪い菌もいい菌も死んだりへつたりしてしまいます。すると有害なカビがはびこったり、悪い菌が増えたりして植物が病気になるのです。植物も弱くなるので、病気にやられてしまいます。それでは困るとまた農薬や化学肥料をまくのですが、土はますます弱るし、私たちの身体や自然環境にもいいはずがありません。そこでEMを入れて農薬をやめていけば、だんだんと土が元気になり、最終的には地球の環境がきれいになるといいうわけです。

生ゴミを堆肥に

EMを生ゴミにかけるとどうなるか。最近ではテレビでも扱われることが多くなったので御存知の方もいらっしゃるでしょう。EM菌が生ゴミを発酵させて、と

てもよい堆肥になるのです。さらに生ゴミなのに、特有の臭さもなく、くさらないのでウジがわくこともないそうです。今までの生ゴミを堆肥にする容器では、夏場どうしてもウジがわき、悪臭がただよふことが多かったのですが、このEMを使うことでこれも解消できます。EM菌に米ヌカや魚粉、油カス、糖蜜などを加えて作ったEMボカシと呼ばれるものを生ゴミにふりかけていくだけの簡単な作業で有効な堆肥がでか上ります。

EMを使い 限界突破

EMを使って元気を土づくりができれば農業面での限界の突破もできるはずです。実際、EMを使って稲作を行っている山形の農家では一〇アール当り九俵だった米の収穫が一四俵もとれるようになったし、稲自体大変丈夫になり、台風がきてもなかなか倒れないようになっているそうです。稲作以外でも、EMを使った野菜や果物は収穫量も味も以前とは格段の違いがあ

環境美化にも役立つ

またEMをうまく利用することにより豚舎などの臭いも少なくなり、より衛生的な経営ができるようになります。EMは水もきれいにすることが出来ます。たとえばトイレから出る汚水にEMを入れるとにおいもバイキンも色も消えてきれいになります。EMは有機物であれば分解できますので工場などの排水さえもきれいにでき、川に流しても大丈夫ということ、環境問題にも有効というわけなんです。EMは現在、世界中で使われはじめており、大きな効果をみせています。大分県でも主婦のグループなどが生ゴミの堆肥化のため、EMボカシを作っている所があります。中津江村でもバイオセンターでEMボカシを作り、その効果について試験中です。次号以下でその結果を報告する予定です。

※記事の一部は、富民協会発行「農業富民」別冊より引用しました

今年 は 天気 に 恵 ま れ ま し た 青 年 団、川 開 き で 奮 闘!



団 長
梶 原 孝 明 さん

村内での行事にボランティアで参加したり、海外研修を行ったりと頑張っている青年団。五月二十一日、二十二日に開催された日川の川開き観光祭に参加してきました。二十一日の土曜日には村内でも踊りの披露を行い、青年団の存在をアピールしていました。日頃は大人しく、恥ずかしがり屋の青年も今日ばかりは思い切り自分達を表現することができたようです。しかし最初は元気がよかったものの晴天であったせいもあって、二日目はちょっとバテ気味だったようです。



今後も多く行事を行い、少しでも村の活性化につながればと団長以下青年団全員はりきっています。
若者が年々少なくなってきた中津江村を、もっと元気にするためにも、大いに遊び、少し考えながらがんばってください。

お二人さん おじゃましま〜す

〈下笠〉石 鞍 光 さん(24)
かおりさん(24)
ゆりあちゃん



今回で2回目になるおじゃましますは、下笠の石鞍さんのお宅におじゃましました。ちょうど夕食時で、食卓にはおいしそうな料理が並んでいました。ではちょっと失礼して……

Q. 友人の紹介で結婚されたそうですが、新婚生活はいかがですか

結婚したという実感はあんまりなかったんですが、子どもができてからは父親になったんだという気持ちかわいてきました。

Q. お互いになんとお呼びになっっていますか
名前を呼び捨てにするか、おいちよつととか……
私もちよつととか、あんたとか

Q. 光くんは子供の面倒はみてる方ですか
ええ、大変かわいがってくれますし、お風呂に入れるのが趣味みたいになってますよ

Q. 奥さんは日田からだそうです、中津江の印象は
どうですか

最初はなんて遠いところなんだと思いましたが、近頃慣れてきました。

Q. 住宅の住み心地はどうですか
環境も最高だし、住み易くて満足しています。

Q. 最近のお二人、お互いにみてどうですか
性格は前と変わらず明るいし、酒が入るとよけい陽気になるんですよ。(光さん)

ちょっと下品になったような気がするけど(かおりさん)

Q. 最後に中津江に望むことは
もっと若者が集まれる場所をつくってほしいです。例えば、山を切り開いてトライアルのできる場所をつくるとか。住宅もどんどんつくれば、もっと若者も帰ってくると思うんですが。

思っていたより(失礼)大変落ちついて、しっかりしている光くん。最近はお父さんぶりも板に付いているとか。花を育てるのが趣味とかかおりさんと一緒にがんばってください。



▲下笠ダムに流れ込んだ流木

流木の有効活用をめくって

昨年の大雨で、下笠ダムに流れ込んだ流木約十万本。その後、スポーツセンターなどに一時的に保管されていたが、先日その一部を自衛隊が利用するということが、約七百本の丸太が運び出されました。流木の処理・処分については、水難救護法という法律にもとづいて昨年九月公示を行い、木の持ち主による引き取りを待っていました。しかし公示期間の六ヵ月を経過した三月二十六日まで、一件の届出もなく、引き取られることのなかった流木は一旦、建設省で引き取る形となっています。建設省では今後、森林組合などにその処理を委託する予定で材として活用できる部分を除き、切りくずや根かぶは木炭にしたり、チツ

プにして利用するなどの活用が考えられているようです。建設省が流木を使ったイスを作ったのも活用法の一つですが、ダムから流木が引きあげられて以来、村内はもとより県内外から、その活用法について多くの意見が寄せられました。風倒木の処理については、日田市郡内では約五十パーセントが処理を終えているとのことですが、残った分についての処理にはかなりの時間を要すと思われる、今後の雨や風が心配です。村では今後の流木の処理対策について第三セクター方式の処理工場導入も含めての検討に入っています。皆様方からも有効な活用法について、御意見をお聞かせ下さい。



中津江村をイメージしたポスター制作

～ 自然を題材に 3 種類 ～



村ではこの度、観光宣伝などを目的とした新しいポスターを作りました。今までのポスターのカラーを破り写真を一切使わずに、村のイメージを絵で表現しています。アウトドアブームでもありますので、主に自然を題材としたものでまとめられています。左の写真が色つきでないので残念ですが、緑・ピンク・オレンジを使った斬新なデザインとなっています。今後村内はもちろん、外でのイベント等に使用しています。

高齢者のよい歯の コンクール

よい歯を持つことは健康づくりに大変重要なことです。大分県では80歳で20本自分の歯を残そうという8020運動を推進しています。今回高齢者のよい歯のコンクールを実施しますのでふるって応募して下さい。

- ①対象—平成6年3月31日現在、80歳以上で自分の歯を20本以上保持している方。
- ②応募期間—7月31日まで
- ③申込み先—日田保健所 (23-3133)

観光キャンペーン キャッチフレーズ募集

大分県では県下の観光の一層の発展のため、今年度から5年間、新たな観光キャンペーンを実施することとなりました。このキャンペーンについて、一般の方々からキャンペーンの名称等を募集します。最優秀賞には10万円相当の旅行券が副賞として贈られます。募集は①キャンペーンの名称、②キャッチフレーズ、③シンボルマークの3部門です。詳しくは企画開発室までお問い合わせ下さい。

農業する若者へ 低利な住宅資金融資

大分県では、「豊かな生活環境、文化環境に恵まれた農村社会」の実現を推進するため、農村若者定

お知らせ

住促進資金を創設しました。この資金は、農業に従事しようとする若者が住宅の新築・増改築等を行う際必要な資金を低利で融資するものです。

対象—農業を営む個人で今後望ましい経営体に発展し得ると知事が認めた人が住宅の新築・購入等を行うとき。

要件—住宅の延べ床面積 125㎡以内、対象者が40歳以下である事。

内容—融資率は事業費の80%
貸付限度額は 1,800万円
貸付金利は 1%
償還期間15年以内

詳しくは日田地方振興局農業振興課(23-2200)へお問い合わせ下さい。

サマージャンボ 宝くじ発売

サマージャンボ宝くじ(市町村振興宝くじ)が発売されます。7月下旬から宝くじの予約申込みが開始されます。この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。

税務大学校生募集

試験の名称 国家公務員採用Ⅲ種(税務)試験

受験資格 昭和49年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた者。

受験申込受付期間 平成6年7月1日(金)から7月8日(金)まで。

受験申込用紙請求先 熊本国税局、最寄りの税務署、人事院九州事務局

申込書提出先 〒812 福岡市博多区博多駅東2-11-1

福岡合同庁舎 人事院九州事務局

試験日 第1次試験 平成6年9月11日(日)、第2次試験 平成6年10月19日(水)から10月28日(金)までの間に指定する1日

問い合わせ先 日田税務署 ☎23-2136



大分県保母試験

試験期日 平成6年8月2日から平成6年8月5日までの4日間

試験場所 別府大学

受験申込みの手続 平成6年7月8日までに、受験料 7,000円(大分県収入証紙)と提出書類を大分県児童家庭課へ提出。

問い合わせ先 大分県児童家庭課 (0975-36-1111)

〔御寄付御礼〕

■社会福祉協議会へ

〈見舞い返し〉

田村 ヤエ様……

二〇〇、〇〇〇円

■栃原公民館へ

〈一般〉

高本富士子様……

電気ポット

〈見舞い返し〉

諫山 訓洋様……

三〇〇、〇〇〇円

■各公民館へ

田の口・野田・二又・川辺・引野・八所・田の原・原部・山本・丸蔵・原・宮園・石

場・堤・鯛生・市ノ瀬

〈見舞い返し〉

諫山 訓洋様……

一〇〇、〇〇〇円

〓 慶 弔 〓

◇お誕生おめでとう

ございます。

田の原 橋本実和ちゃん

(豊年)

五月二十一日生

◆お悔やみ申し上げます。

ヤナゼ 高野 夏治様

才野 山田壽賀雄様

夏はまだまだ先のこと？

まだ冷たいよ！

プール開き

六月初め、各小学校でプール開きがおこなわれました。夏の到来を望みたいところが、まだまだ水は冷たく肌寒いプール開きとなりました。雨もまだ降ることでしょうし、思いついて泳げる日は先でしょうが、子供は元気よい声とともにプールに飛び込んでいきます。またB&Gのプール開きも二十一日行われ、神事をして今年の無事故を祈りました。九月十一日までの期間中、多くの方の利用をお待ちしています。



B & G プール 利用案内

●料金

大人／一〇〇円
小人／五〇円

●利用期間

六月二十一日

～九月十一日

●利用時間

(1)火曜～土曜

午後一時～午後四時

(2)日曜日及び夏休み

午前十時～正午

午後一時～午後四時

(3)夜間

火曜・水曜のみ

午後六時～午後九時

※月曜日は休館日です。

7月は 「社会を明るくする 運動」月間です

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更正に理解を深め、それぞれの立場から協力し、犯罪のない明るい社会を築こうとすることを目的とし、毎年七月一日から三十一日までの一カ月に渡り全国的に展開される国民的運動です。この運動は、地方自治体及び関係諸団体等の御理解と御支援により着実な成果を挙げ、回を重ねて今年で四十四回目を迎えました。この期間中は、保護司会や更正保護婦人会などが中心になりミニ集会、街頭パレード、映画会などを行いますので地域の方々のご参加、ご協力をお願いします。

標語

「ふれあいと

対話が築く

明るい社会」

社会を明るくする運動

日田地区実施委員会

つねづね

先日、仕事で福岡へ行く機会があった。九州最大の都市は日に日にその姿を変えているかのようで、都市高速は市街地から郊外へと長く延び、ビルはその高さを競うかのようにそびえ建っている。地方の時代といわれて久しいが、都市への人の集中、一極化は進むばかり。口では田舎でのんびり暮らすのが一番人間らしいなんて言いながら、若者が街へとむかうのも、うなずける様な気がするのまた事実である。

しかし利便性の良さの裏には多くの問題を含んでいるように思える。中津江の中でアルミ缶回収や廃油せつけん作りなどを行っているグループがあるが、省資源・省エネルギーの点から、例えば大都市のネオンを一時間早く消せば、この婦人たちの貴重な活動の何十年分の効用がある。そう考えると何だか矛盾だらけで腹立たしく、持ち帰ろうとしたゴミさえ投げ出したくなった。決して都市だけの問題ではないのだが……。